

予防接種法に基づき、麻しん風しん混合の個別予防接種を行います。次の注意書きやパンフレット「予防接種と子どもの健康」などをよく読み、必要性や副反応を理解してから接種を受けるようにしましょう。わからないことは、接種を受ける前に医師に質問しましょう。

## 1 病気にかかると次のような症状がでます。

**麻しん:**麻しんは感染力が強く、予防接種を受けないと、多くの人がかかる重い病気です。初めはせきや鼻みずが出て、その後に高熱と共に全身に発疹が現れます。主な合併症としては気管支炎、肺炎、脳炎があります。

**風しん:**風しんは軽いカゼ症状ではじまり、発疹、発熱、リンパ節腫脹などが起こります。合併症として、関節痛、血小板減少性紫斑、脳炎などを発症することがあります。また、妊婦が妊娠初期にかかると、生まれる子どもに先天性風しん症候群(先天性心疾患、白内障、聴覚障害など)を引き起こす可能性が高くなります。

## 2 予防接種を受けると

接種すると麻しん及び風しんに対する抗体(免疫)が得られ、病気にかからなく(かかりにくく)なります。なお、接種後個人差はありますが、発熱や発疹、リンパ節腫脹などがみられることがあります。これらの症状は自然になおりますが、症状の改善がみられない場合は早めに医師の診察を受けてください。

## 3 対象者 小平市に住所を有する方で

(第1期) 生後12か月から生後24か月に至るまでの間にある者

(第2期) 5歳以上7歳未満の者で、小学校就学前の1年間 (※次年度小学校に入学する子)

※第1期は生後24か月(2歳の誕生日)の前日までに、接種しましょう。

※第2期は小学校入学前の3月31日までに接種しましょう。

それをすぎると公費負担を受けることができず、費用は自己負担となります。

※小平市より転出された方は、当市の予診票での接種はできません。

転入先の市区町村で予診票をお受け取りください。

4 接種方法 皮下接種 0.5ml 1回

5 実施場所 「小平市予防接種指定医療機関一覧表」のとおり(別紙参照)

6 実施日程 接種日・時間は、医療機関により異なりますので、事前に確認してからお受けください。

7 費用 無 料

8 医療機関に持参するもの 麻しん風しん混合予防接種予診票、母子健康手帳

「麻しん風しん混合予防接種予診票」はお子さんの接種時の体調などを確認するために必要です。必ず接種前に必要事項を記入して医療機関に提出してください。

## 9 次の項目に該当する子は接種を受けられません。

- (1) 明らかに発熱(通常37.5℃以上をいいます)のある子。
- (2) 重篤な急性疾患にかかっていることが明らかな子。

- (3) 接種しようとするワクチンの成分で、アナフィラキシー(ショック症状、じんましん、呼吸困難など)をおこしたことのある子。
- (4) その他、医師の判断により予防接種を行うことが不適当な状態にある子。

## 10 次の項目に該当する子は接種の際、医師と相談してください。

- (1) ガンマグロブリンの接種を6か月以内に受けている場合。
- (2) 心臓血管系疾患、腎臓疾患、肝臓疾患、血液疾患、発育障害などの基礎疾患を有することが明らかな子。
- (3) 前の予防接種で2日以内に発熱のみられた子、又は全身性発疹などのアレルギーを疑う症状をおこしたことのある子。
- (4) 過去にけいれんの既往のある子。
- (5) 過去に免疫不全と診断されたことのある子。
- (6) 接種しようとするワクチンの成分で、アレルギーをおこすおそれのある子。

## 11 接種前の注意

- (1) 接種の際、保護者等のサインが必要です。この通知やパンフレット「予防接種と子どもの健康」などをよく読んで、必要性や副反応についてよく理解しましょう。わからないことは接種を受ける前に医師に質問をしましょう。
- (2) 接種前日は入浴(又はシャワー)をさせ、体を清潔にしましょう。
- (3) 当日は朝からお子さんの状態を良く観察し、ふだんと変わらないことを確認してください。もし、体調が悪ければ接種を避けた方がよいでしょう。
- (4) 清潔な着衣をつけさせましょう。
- (5) 接種は保護者同伴で接種しましょう。
- (6) 予診票は医師の大切な情報源になります。責任を持って記入するようにしましょう。

## 12 接種後の注意

- (1) 接種後 30 分間は安静を保ち、様子を観察するようにしましょう。
- (2) 接種後生ワクチンでは2~3週間、不活化ワクチンでは 24 時間は副反応が現れる場合があります。お子さんの状態を良く観察し、万一、高熱やおう吐など異常な副反応がでた場合は、早めに接種医の診察を受けてください。その場合は、小平市健康推進課に連絡してください。
- (3) 入浴は差し支えありませんが、注射部位をこするなどしないようにしましょう。
- (4) 接種当日は、激しい運動は避けるようにしましょう。

## 13 予防接種健康被害救済制度

予防接種により、万一、健康被害が生じた場合、その健康被害が予防接種によるものであると認定された場合には、予防接種法に基づく予防接種健康被害救済制度が適用されます。

### <予防接種の間隔>

- (1) 乾燥弱毒生麻しん風しん混合ワクチン、乾燥弱毒生麻しんワクチン、乾燥弱毒生風しんワクチン、経皮接種用乾燥BCGワクチン又は乾燥弱毒生水痘ワクチンを接種した日から、乾燥弱毒生麻しん風しん混合ワクチン、乾燥弱毒生麻しんワクチン、乾燥弱毒生風しんワクチン、経皮接種用乾燥BCGワクチン又は乾燥弱毒生水痘ワクチンの予防接種(同一種類のワクチンを接種する場合において、接種の間隔に関する定めがある場合は、その定めるところによる。)を行うまでの間隔は、27日以上おくこと。
- (2) 2種類以上の予防接種を同時に同一の接種対象者に対して行う同時接種(混合ワクチンを使用する場合を除く。)は、医師が特に必要と認めた場合に行うことができる。

問合せ 小平市健康推進課 〒187-0043 小平市学園東町1-19-12 (小平市健康センター内)  
TEL:042-346-3700 FAX:042-346-3705